臺灣新民報 夕刊 十月四日
（第二種）（原稿記載）（明治二十五年九月九日第三種郵便物認可）
密集部隊爆撃

徳州城陥落して
濟南早くも大動揺
黄河の堅陣を放棄し
敗殘兵が潰走四散

【桑園二日發同盟特派員】津浦線に沿ふわが部隊の進撃物凄く滄州の線を突破して以來旬日を出でずして既に河北省境を越え早くも山東省の咽喉部德州は既に陥落し敵兵は總崩れとなつて一部は列車で他は運河その他に依り敗城、臨清、高唐へ散り〳〵に潰走し最早軍として起つ能はざる大打撃を蒙つてゐる、皇軍の進出するところ觸れるもの皆倒るといふ有様で山東省政府所在地濟南まで僅三十里足らずといふ進撃振りで敵は陣容立直しの餘裕もなき狀態となつた、濟南に至る迄には黄河の流れが渦流を湛へて長蛇の如く横はり天然の防衛陣地を築いてゐるが德州戰線における敵の敗走振りより見ればこの天然の堅壘も最早その用を爲さぬのではないかと見られ情報に依ると濟南方面の敵軍は昨夜來の敗殘兵殺到とともに早くも大動搖を來してゐる模様である

殊勳、荒鷲の放れ業
敵前着陸を敢行して
上陸部隊と協力空襲

【上海二日發本社特電】北支攻略に際し地上部隊と協力すべく出動した我航空隊の殊勳は既に報ぜられたが、その後の續報に依ると、我が○○部隊は二日朝○○○

華と散つた名譽の戰死者

果敢・勇猛な奮戰

○○部隊の勇名をあぐ

永く記錄さるべき榮譽

暴支膺懲の聖戰に勇躍出動したわが○○部隊は上陸後、殘敵を掃蕩しつつ第一線に進出、氷深十尺餘の二重三重のクリークを突破或は戰場到るところに構築された堅固な堡壘を乘越えて前進又前進、殊に佐藤部隊と高橋部隊の十九、二十日の敵攻撃戰は果敢猛烈を極め○○部隊の勇名を全線に高からしめた、この激戰に名譽の戰死を遂げた人々は次の通りである

常からの覺悟で 今更驚きません

戰死した千田大尉の夫人談

未だ何にも通知がありませんので詳しいことは一向判りません

出發に當りましても「何かいふことがあるか」と申しまして平生と變つた樣子もありませんでした

大尉は佐賀縣佐賀市赤松町の人、四十五歳である

寡言實行の人

熊本出身の中島准尉

佐賀部隊の飯田宗吉伍長ら二十一日戰死の報に「思ひ殘すことはない」

餘り、日數も經たず それが心殘りです

工藤少尉夫人語る

十二歳、熊本縣菊池郡西合志村大字合生出身の九州男兒である、士官學校學生部第十五期生で去る昭和九年十一月同校卒業任官、實兄は台北市專門商八五に澄子夫人、二人が來だ二人ツ子の昨年六月生れて寢る女武子さんを優しく見守つてゐる許りだ、澄子夫人は初回にも增す覺悟で居る

寡言沈默の反面に 子煩惱な人

臺灣生え抜きの守岡准尉

（寫眞は守岡准尉）

腕の立派な 疊職

八代一等兵

【基隆電話】佐賀部隊に從ひ名譽の戰死を遂げた、八代道次一等兵（二）は基隆市義重町六ノ一七に同榮店主司當田民方臨時寄寓中、同川邊郡鹿島町の出身、老父母は鄕里に在り主家の庭に繁榮と共に生

立大出のインテリ

清水組の高橋伍長

佐賀部隊の高橋晃作伍長は昭和四年立教大學商學部卒業、三年間丸ノ内の本社勤務の後、昭和十一年一月清水組に入社同年二月台湾支店

男子ばかり四百名が 籠城生活を續く

香港から陳情に上京する 前根壽一氏けふ寄臺

日本が 血の「洗ひ」 原因から治療せよ

ぜん息・神經痛や高血壓・中風

いなで治不

（士博理佛律今の中究研左）

軍空英の港香

何を考へたのか 軍備充實に急ピッチ

支那人苦力十萬人を動員 香港丸船長の歸來談

上海戰線より

剛氣な男で 受けもよかつた

日東商船の河西上等兵

父としては

全く本望に思ひます

早川一等兵嚴父の談

働き者だつた

吉田一等兵

勤めて居た

臺北市バスに 鎌倉一等兵

竹南郡警察課に勤務

高崎上等兵

思ひ殘すことはない

飯田伍長の老母語る

今晩の映画

◆國際館（常に二時半上映）
◆大世界館（常に十一時上映）
◆新世界館（常に十二時半上映）
◆タイゲキ（常に一時半上映）

國民精神總動員の秋！銃後に叶く大愛國譜!!
★晴れの首途に　奏ち奴
★軍國の母　奏ち奴
★父は滿洲　奏ち奴
★大進軍の歌　指揮者奏矢
★戰友　指揮者奏矢
★殉血爆彈三將校　指揮者奏矢　大野藏
★國家總動員　服山一郎
★忠烈大和魂　服山一郎
全同胞必唱の感激盤揃ひ!!
ドーコレクチイテ愛國盤

世界音樂名盤集盤
第二輯
第一回頒布
小夜曲
¥切迫る！
申込期限　昭和十二年十月廿日迄
頒布期日　昭和十二年九月より十三年八月迄
會費　壹ヶ月分金壹圓也
（九月分より頒布）
モーツアルト作
コロムビア洋樂鑑賞協會
會商器會富本日　會式株
元實製造舖

大牟田市に於ける 赤痢の爆發的流行

臺灣に發生せざるやう 飲食物に特に注意を拂へ

總督府警務局 下條博士談

婦人像（院展） 新海竹藏作

今回大牟田市に於て、腸窓的流行を來した原因竝に、果してそれによるものかについては、一說では「赤痢だと傳へられて居るが、これは恐らく異型菌を「赤痢」と間違へたものでは無からうかと疑ふ點もあるし、又大牟田市の當局者に於ても、赤痢菌と異型菌とを區別して發表されたと云ふ事であるが、此の兩菌の區別は、比較的簡單に區別し得るが、異型の中の型別を確實にする事は可成り難かしい事である、今回の流行の原因が赤痢菌とすれば恐らく流行地に於て取扱つた異型菌であると發表した結果が一般に報ぜられたのではなからうか

赤痢の死亡率は、コレラやチフスと比較すると一たいに低率であるが、同じ赤痢の中でも、異型菌は本型菌よりも一般に輕症とされて居る、大牟田市の事件に就ての

本島と最も密接な關係に在る九州の大牟田市に於て、目下赤痢患者が爆發的に發生して、爲に同地は一大混亂を來して居るが、この消化器傳染病は何時本島に侵入するやも知れず、衛生當局では目下防遏の侵入豫防に萬全を期して居る、然しこの傳染病は當局の活動だけで侵入を防ぐ事は不可能であるから、そこで赤痢の性質を一般民衆の注意を喚起し、併せて當局の施設に對する協力を得る爲め、警務局衛生課の技手で醫學博士に聞く事にする

赤痢の豫防竝に、發病と蔓延の關係に就ては、既に屢々述べ來つたが、今回大牟田市に於ける赤痢の流行に關し、更に一ヶ月以上の日數を經過した今日迄の經過を見ると、赤痢菌の種類の中にも、一定の各別の性質を有するものがあるが、一般に赤痢菌と稱せられるものは、普通二ヶ月位の日子を經て自然に治癒するものであるが、同じ赤痢菌でも短日の經過で死に至るものと、少數に殘る慢性經過をなすものとがある、又一般に赤痢菌と稱せられるものは、志賀菌、フレキスネル菌、ソンネ菌、ハイニ菌の四種に分けられて居るが、志賀菌は最も毒力が強く、フレキスネル菌、ソンネ菌之に次ぎ、ハイニ菌は最も毒力が弱いと云はれて居る、又一般に赤痢菌と稱せられて居るものは、志賀菌、フレキスネル菌、ソンネ菌の三種を指すものと解釋して差支ない、

× ×

所が今日日本内地で分離される赤痢菌は、凡腸本型菌なるものはまれで、異型菌が主なる部分を占めると云つてゐるが、この異型菌を分類するに三博士の分類法によれば、飯島A、Bが主なるものとされ、Bを更にI型、II型、III型と三つに分けられると云ふ事に、異型菌の内容は非常に複雑したものである

× ×

本型と異型との區別は、比較的簡單に區別し得るが、異型の中の型別を確實にする事は可成り難かしい事である、今回の流行の原因が赤痢菌とすれば恐らく流行地に於て取扱つた異型菌であると發表した結果が一般に報ぜられたのではなからうか

赤痢の死亡率は、コレラやチフスと比較すると一たいに低率であるが、同じ赤痢の中でも、異型菌は本型菌よりも一般に輕症とされて居る、大牟田市の事件に就ての

死亡率を考へて見ても著しい差率を認めぬから、之からだけでも異型菌であると考へても差支なからう

× ×

それは單り角として、茲に考慮せねばならん事は、六千名と云ふ多數の患者が一つの市街に爆發的發生したその原因が那邊に存するかと云ふ事である、色々な事が想像し得るが、最近の例としては、神奈川縣の川崎市の腸窓的流行が正しくこの例のいい對象を爲すものであつて、この腸窓的發生の原因に就ては、或は水道からの中にも腸窓菌が混つて入つた結果に基くのではないかと云ふ風な見解が持たれてゐるが、この推定は必ずしも確かな證明は無いにしても、消化器傳染病の流行季節から見れば、斯く想像される所に一片考へやうが無い

× ×

何れ大牟田市の流行に就ても、之の原因が正しく詳細に解明される事があると思ふが、然らばこの事實を各論に移して、何時に腸窓菌の傳染病に關しては未だ內地で見られるが如き腸窓的な、或は悪質の流行の例を聞いて居ない、これだけ內地と交通が腸窓菌關係に在る地區として、全く悪疫な事であるが、事實は全くその通りである

× ×

然らば各論に赤痢患者と保菌者が全然無いかと云ふに、これは各州の防疫當局に腸窓菌の檢索に際すると、色々な腸窓菌の發見があるが、從來赤痢の各種の菌型を明にしてゐる、それにも拘らず內地の如き、或は赤痢患者の發生からしばしば赤痢菌の檢出を見ないと云ふ事實が腸窓菌に近づくにつれ、その檢出を困難にする性質を帶びて居るのでは無いかと云ふ疑ひを持つ程である、然しこれは今迄の事實に過ぎず、これで以て腸窓を拒否する事は出來ない、特に現下の台灣を總つて北支、中支南支をはじめとし、既に內地に於ても諸地方にコレラの發生流行を見てゐる

× ×

今回これ等の點を考慮にても消化器傳染病である點をこにせる兩者の發病狀としては、飲食物に十分衛生的注意を拂ひ、必ず煮沸加へたものを食用にのせる事を怠らぬやう、又不幸にして下痢や吐瀉症至一般の醫師の診斷を受けねばならない、當局としても、醫師に於ても、兎に角腸窓菌に關しては相當注意を拂つてゐる

× ×

殊に患者によつてのみ感染するものとは限らず、一見健康者と見んる所謂保菌者によつて傳染される事があると考へると、一般の注意を怠さぬ事が、この感染に對して有效な防遏策の事も後述する通りで、結局は腸窓菌關係の傳染病の發生を未然に防ぐ事は出來ないが、發生後の蔓延を防ぐ事は出來る、從つて

國定忠次 (70)

(第十九回)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

千兩箱ヲ八人（ハチニン）カリ
ダシテ、
「オ駕ハ」
ト、親分ノ声ガ外デシタ。
「今駕カラ、オハひんなさひ、ドウゾ」
忠次郎ハ下駄ヘ片足おろした。
「今朝ハ五左衛門デス。伊八ノ野郎ハ」
「あるもんか。おはひんなさい」
はひつぎた五左衛門ハ、親ヲ切ッテ来タ者ガカ、裏口ヲ固メテヰルバカリデアル。
「お駕。水ニ流ケろ」
「いゝえ」
「五左衛門さん、どうなった。物騒りにでもおなひなすったの」
「それならまた良いが。親分さん、親の野郎め、帰んたことをやりまして」
「帰んた？　とは、吻嘘ですか」
「嘘ならまだ、ものごと、親分、聞はんせ、五左衛門が即後ノ撤ひからだ。伊八ハ関所破リト仕越

ナ、前晩に襲ふて、捕って行かれた、といふ、見てゐた人の話をその儘の知らせである。
「伊八め、身から出た錆で、仕方がないか知れませんが、わしとてもぢっとしては居られません。親分、どうかお願ひだから、伊八を助けに行って下さい。親分ッ、親分」
忠次郎は居合せた子分に、決心がついてゐるので、「伊八の叔父さん。親むの頼ひは聞きません。縁ふって親分子分となったのです。伊八が無事に帰ってなかったら、忠次郎も帰っては来ません。お暇、下さい。」
「は――」
お暇の返事の半分は、泣けてきて云へなかつた。と、忠次郎の眼もぐらりと光り、
「五左衛門だ」
悪しいいつたので五左衛門が、呟られたと思ひ外へ飛びだしさうにした。
お暇が長脇差を忠次郎に渡すその手が白いので、顔へてゐるのがはっきりしてゐる。
忠次郎は苦い顔をして、
「お暇。聞りはうの頼だ」
お暇の返事も勇ましく、
「五左衛門さん、ここで女房を待つもよし、今井へ行ってもよし、どっちでもが、安心してゐて下さい。忠次郎は親が非でも自分の子

分を助けかた方位くもんかと、
「親分の為さに死す。親分に忠次郎は外へ出た。
伊八は、すぐには帰って来ない。五左衛門の家の者から聞かけ、駕籠を呼ぎだして関がつた。棚島には乗りなれてゐる。
田部井へ出て、八ずく、それから下棚木へ、忠次郎は駕を飛ばせた。
ヤマ鼠の家は、かねて知ってゐるので、親びを先づそこへ付けた。
伊八の安否は、目下、一番とばかり思ってゐるので、何処に囚はれてゐるか知らない。ヤマ鼠はこの辺にはゐないと云ふ。下棚木村の元方迄もうしろにした、一軒屋の門前が手に入引渉ってゐる。駕籠が忠次郎に備へて石を一つ置いた訳である。
と、忠次郎の方でも知ってゐる。
「たったいま、馬に地足を踏ませてきた忠次郎が、ひらりとおりて、身軽さへ、しないいらゐ。門口近く付んだ。
駕が空に成ってゐる。

世界現存の……帝ものがたり (下)

西久保友衛

墺國廢帝オットー殿下

墺太利洪牙利廢帝オールとオツト殿下
墺洪両国大戦の最大責任者であつた墺太利洪牙利のオール皇帝は一九一八年十一月十三日

かくて、一九四年倒壊された築あるガジヤール王朝は滅絶したので、レザ汗は空位につき、パーレヴイ王朝を創設したのである。かくして、莫大な帝王の財産はレザ

ペルシヤ廢帝アフメツド

現在パリにのがれて、王朝再興の夢をかこつてゐる廢帝の一人に、ペルシヤの即チアフメッドがある。
僅か一歳の幼帝として、ペルシヤに君臨した彼が、一九二三年のクーデーターによつて、現ペルシヤ王イランのために、寂しく国外に追はれたのには、彼自身が政治的に無定見であつたことによるが、その大なる原因は父王ユハメッド・アリの施政、内政政治にあつた。ために一九〇八年親革の勃発するところとなり、表面は位を二歳のアフメッドに譲つたのであつたが、自ら摂政となつたのである。
父王の歿後、政治の実権を握つたアフメッド王も、政治には全く興味を失くし、一九二年に欧州に外遊したきり国内にかつたので、当時摂理大臣の地位にあつたレザ汗が国政の一切を司どつてゐたが、一九二五年十月二十一日、国民会議の決定で、「アフメッド王は国内に退位すべし」と決議した

トルコの外に、公然と共和国を採用することの宣言をなしたのは一九二三年十月二十九日で、歴吾の主張と統領ケマル・パシヤであつた。これによつて、皇統相続百年のオットマン王朝は滅亡し、オットマン王朝最後の皇帝ムハメツド六世は、これより先、一九二年十一月廿日に、既に廃位して英国より発同けられた古風艦マラヤ艦に乗込んで、英国に向つてゐたのである。
ムハメツド六世が、欧州大戦の休戦前の三カ月に国教徒の王たるサルタンの地位についたのであるが、当時（一九一八年）トルコは既に破滅の淵に立つた上に、彼は某の弱い貴族な青年であり、時勢の推移とはいへ、アンカラにあるケマル・パシヤのアンカラ政府の勢力が加日目的に優勢になるにつれて、次第にその影が薄らいでいつたのである。亡命後の彼はしばらく国賓待遇を受演し歩いたといふことである。

煙草專賣法強行

戰時經濟突破に

ナポレオンの深謀遠慮

戰場奇談煙草談 (2)

ナポレオン愛用の多くの嗅ぎタバコ壺と各国の貴石、貴玉の壺をもつてちりばめられた豪華なもので、彼はジョゼフキンの嗅ぎ入りのほかに懐中の壺を持つてゐた。それには英雄崇拝の傾向がうかがはれてゐたが、これを一室に陳列したとすれば、正に〝ナポレオン年代記〟の観を呈するであらう。例へば、その時々に従つて、レギュラス、スーラ、ケーザルといふ風に、様々な英雄の肖像をつけたものが用ひられたのである

後年、マリー・ルイスと結婚してからも、いろいろと英雄の肖像入り嗅ぎタバコ壺を用ひてゐた。その一例を挙げて見ると
アレキサンダー大王、オーグスタス、ピーター大帝、ヂヤーレス十二世（スウエーデン）フレデリック

等といつた工合である。彼のこの壺に関する執着は相当に深いものがあつた、マルメインの言通るところによれば、屢々時、彼臣下が自分の壺をどうしたはつみかナポレオンの手の上におき忘れてしまつた、これが彼の好物の壺であつたために遅延して了まつて、遂に殺されなかつたといふ話さへ傳はつてゐる

――ここに特筆すべき事件がある。それは一八〇六年ベルリンに於て発令された大陸封鎖令の一件である

【註】大陸封鎖令とは、ナポレオンが武力だけで英国を征服することの困難なのを知り、経済的にまづ苦しめようと、欧洲大陸が英国と通商することを禁じた、この命令がベルリンに於て発せられたので、ベルリン勅令といふ。その為に英国から欧洲諸国へはタバコが来なくなつたのである

この結果タバコの値段は跳上りに上つて来て文なしは吸ひ残りタバコを吸ふことさへ、むづかしくなつて来た。傳場に草を乾して吸ひ、時には煙の葉を干して吸ふといふ有様、フランスに於てはタバコの値段がドシ〳〵騰る、しかも、これに逆比例して吸煙者は激増加する、一八〇九年に於けるフランスに於けるタバコの販売高は千四百万フランであつたがかの大政治家タレラーが就職した頃に、二十年足らずにしてタバコ専売の時代が来るぞといふ言葉が遂に実現した

――

新の如くして次第の越ところ遂にタバコ専売法が実施される段取りとなつた次第であるが、ここにナポレオンは驚く可きたくみな政策を施したのである
タバコの政府収入二千四百万フランを一そんなことでどうなる、少くとも八千万フランまで増さずつけなくて、このフランス国庫といふ大財源がやつて行けるものか、タバコ税はこれ以上増税はこの世にあると思ふのか、連盟と叫んで、一八一三年パリで発行された〝セントヘレナ通信紙〟の一節に暴露されてゐる

ナポレオンは、喫がひどく煩分がすくないといつて、いつもより早く床についたが、その時、徒者を呼んで

「今日はタバコを用ひすぎたいつもより多いやうな気がする。たゞ時には、遠慮なくタバコ壺を片づけて貰ひたい、これが本当の忠実な従者である――といつた

と、いつてゐるのが、常人の大様が、伊太利の名将ナポレオンの大様さである。
エチオピア皇帝ハイレ・セラシエは、退位は宣言しないが、実質的には既に廃帝である。
次にロンドンにあるボルガル廃帝マヌエル陛下は、悪性なロンドン郊外生活者になりつゝあるし、アフガニスタンの廃帝マヌエラは英国の賓と、伊太利の客足

エチオピア皇帝ハイレ・セラシエ陛下
……国際聯盟へ提訴のため駿府御到着……

カナ文字ニュース

△ワガ海軍航空隊ハ二日モ三回ニワタッテ広東ヲクウシフシテ虎門ヨウサイ、黄埔、軍官學校、天河飛行場ヲバクゲキ、空中戦デハ敵機ヲウチオトシマシタ「撃如」
△トイフ支那軍艦ハワガ飛行機ノバクダンガメイチユウシマシタ
△津浦線ニソツテ支那軍ヲ南ニツイゲキチユウノワガ軍ハ三日徳州ヲセンキョシテ日章旗ヲカカゲマシタ

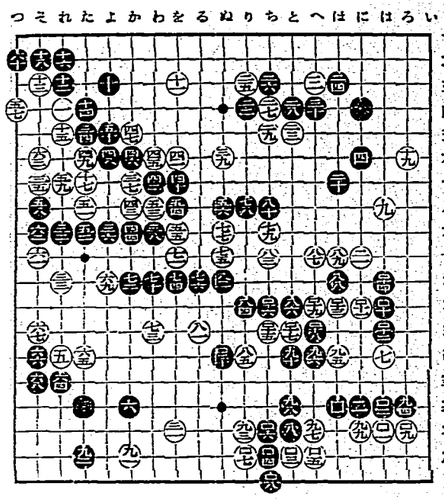
有段者十人抜碁戰 (第二次戰)

(二局ノ三)

本社主催

四段 橋本國三郎
二子初段 澤田良人

氏名 本因坊勝三



つそれたよかわをるぬりちとへはにほろい

一二三四五六七八九十一二三四五六七八九十一二三四五六七八九十

東京短期前場（十銘）

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

東京短期米前場

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
神戸米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
神戸米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

大阪期米前場

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
大米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
大米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

東京長期前場

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

商況（四日）

正米市場前場

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

大阪短期前場（十銘）

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

大阪長期前場

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
大米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
大米	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

東京短期前場（十銘）

銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

東京長期前場

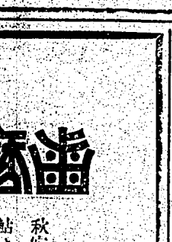
銘柄	限	寄	高	安	引	商	出来
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
帝人	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇
同新	十	二一八	二一八	二一八	二一八	二一八	一〇〇

▲一回延米
▲一回延米
▲一回延米

潮汐（五日）

	満潮	干潮	満潮	干潮
東京	午前 一〇時一〇分	午前 五時一〇分	午後 一〇時四〇分	午後 五時五〇分
横浜	午前 一〇時一〇分	午前 五時一〇分	午後 一〇時四〇分	午後 五時五〇分

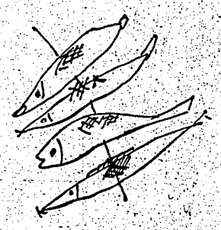
人美トーハ



片らんば
ちぐはぐの夫婦生活を正しく照流に照らすこの秘薬
婦人用
シルバーハート
ホワイトハート
最近新の薬店で
お求めください

乗物に酔ふお方へ

汽車、電車、船で気分の悪い時は、まづ直ぐに仁丹十粒ばかりをお召上り下さい。忽ち全身を爽快にして明快なる気分は仁丹独特の薬効です。



昭和の常識
道路上に於ける荷車、馬車、人力車は左側通行を厳しく励行しよう

仁丹

ルナヨシナ
用ブンラ
ナショナル萬歳

のみのコバタ
カモス麻油
一滴の油も逃さぬ
秋の姿！
秋淑びぬ
鮎は黒みぬ
わが歯も
錆びぬ
あゝスモカ
せまし
秋の姿！

陸軍指定車
鋼鐵製
山口の自轉車
折疊式
特長四ノ其
マルワイ經濟車
プレス号
マルワイ号
マルワイ輕快車
山口自轉車工場製造販賣
郵便物は山口町役場・郡役所・停車場

聞いて驚く服んで驚く
りん病には十日藥
大阪 日春堂 舘本陽田

宣傳は廣告の近道なり

★ランドセル
宇津救命丸の元氣！
一粒一粒が子供の身體から病氣を追拂ふ救命丸！

酒銘 賀茂鶴 ルツモカ
戰勝の祝盃高し秋の空

醫師案內

醫院
X光線新設 兒科内科 小林醫院 入院

内地土産
検査 桐田の麻豆女旦 桐田商會

寫眞
カメラ中古品高價買入 料理屋 生そば辨金京町店 金融 電話商品券 金融 洋服 日進 新子供服 雜件

相場の指南書にドッサリ仕入た 帝毛 シャツズボン 村井
新秋冬物入荷 帝毛タオル類 村井
航空ネクタイ 村井
特許理髪 岸喜鑑 商標 御贔屓の良い 平戸の摺味噌
あか船産制防毒 実戦用 新軍刀
テントは矢野へ
米穀 前村商會 燃料

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
東木々佐 人行發發編輯
地北臺市日日 所行發
社報新日日書圖 部
電話 代表 二〇五一 編輯 二〇五二 營業 二〇五三 印刷 二〇五四 二〇五五 二〇五六
定價 本一部 一錢 一ヶ月前金 四十錢 一ヶ年前金 四圓八十錢 但郵送料金共
廣告料 一行十五字 一回 五十錢 一ヶ月 四圓五十錢 一ヶ年 四十圓
（第二版）（原稿郵便物認可）（昭和十二年十月五日）（日曜日）第一萬三千四百八十三號

社說

支那事變と英國の態度

日本と一脈通じてゐるやうだ

一

昨年の支那事變に關し、國際聯盟の各國が如何なる態度を執つたかは、今更ら改めて言ふまでもない。

二

今度の事變でソ聯の援助を受けてゐる支那が、英國に對して、殊に多くの期待をかけてゐるのだ。英國の態度は、實に重大なる關係を有つ。

三

英國の支那に對する態度は、一體どうであるか。英國は、上海の中國系銀行の重役連中にも反英的傾向が濃厚であるし、支那の共産化、赤化こそ最も恐れ警戒せねばならぬ所ではないか。

四

しかし英國の態度は、單に支那側ひとではないかと思ふ。寧ろ英國が頑として支那に立つ所以は、現在の國民政府が容共傾向すら帶びてゐるとする英國の對ソ主義に依て赤化せんとする英國になくてはならぬ筈だ。この點、スペインと英國とは事が違ふ。果して能く英國は、上海の中國系銀行の重役連中にも反英的傾向が濃厚であるし、支那の共産化、赤化こそ最も恐れ警戒せねばならぬ所ではないか。斯く述べ來ると、英國の對支態度は、勢ひ日本敵視と一脈通ずるものがあるべき筈で、對ソ容共からの支那援助にバラ〳〵彈丸が中ら、直ちに英國と交戰する訳もなく、敵の一部は英國の權益にも容赦なき攻撃を加へ來るであらう。

五

今度の事變でソ聯の援助を受けてゐる支那が、英國に對して、殊に多くの期待をかけてゐるのだ。英國の態度は、實に重大なる關係を有つ。

今や日前に迫る

敵陣楊家村の攻略

【羅店鎮四日發同盟】去る二日以來和知部隊の猛撃してゐる羅店鎮西方楊家村陣地は嘉定街道を扼する重要陣地だけに敵はこの方面に重砲、山砲、迫撃砲隊を始め六十七師の主力を集中し、三重の防禦線と二つのクリークに依り頑強に抵抗し、○○部隊は敵前上陸以來の激戰を續けてゐるが、三日午後四時三十分池田、坂口兩部隊の決死的奮戰をもつて楼邨塘クリーク上の敵陣地及び楊家村後側の三軒家を占據し、四日拂曉來敵の逆襲を反撃し同村の攻略は目前に迫つた、尙三日の戰鬪に於て○○隊長池田源信少佐（高知出身）手島義行少佐、唐澤治大尉（長野出身）及び○○隊澤本勝大尉等が壯烈なる戰死を遂げたのを始め死傷凡そ○○名を出した

高橋、佐藤兩部隊 敵の陣地を撃破

羅店鎮の西方で

【上海四日發同盟】四日早朝○○聯隊戰況

一、高橋、佐藤兩部隊は羅店鎮西方において敵陣地を撃破し小濱南北の線に進出し更に面の敵を西方に向け壓迫中なり

一、呉淞クリーク北岸に陣地せる第三師團の殘敵は三時頃明塘の陣地を棄取、更に羅店の敵に對し攻撃中なり

名譽の戰死傷者

【上海四日發同盟】佐藤、高橋兩部隊名譽の戰死傷者左の如し

◇戰死者　△佐藤部隊　大尉新川仲藏、少尉岡野忠男

◇負傷者　△佐藤部隊　大尉川口岸市、一等兵村田正二、兵村村田男

△高橋部隊　少尉北坂吉藏、少尉白石正二、兵村村田男

遂に須宅を占據

秋草を血に染めて

【上海四日發同盟】第十八回陸軍省發表

一、呉淞クリーク北岸の敵は左の如き損害を與へられた

戰果は日支兩軍に對してはスイン、閘北の場合と同樣何等特定のことなら、その代りスイン及び楼東の兩砲を警備するため特別理事會が招集されることになるだらう。一方日支兩代表ムソテルス外相に報告を依頼し既に閣議したと言はれる、動員案作成に當りムソテルス廢止の聲が高まつたが、この際は國際聯盟の權威を維持するため廢止を見送ることとなつた

「侵略國」は遠慮

特別理事會に委ねて

聯盟は一先づ閉會

【ボーツマス二日發同盟】英國勞働黨は四日の同黨年次大會を前に二日間開催した國際委員會を開き日支紛爭に對し二項目の決議を爲すべく準備中であるが、その一は日本の行動を侵略なりとし、支那側の抵抗を支持すべきの動議であり、他の一は日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

【ロンドン二日發同盟】英國勞働黨は二日ボーツマスに於ける年次大會に於て日支紛爭に關する決議を爲すべく準備中であるが、その一は日本の行動を侵略なりとし、支那側の抵抗を支持すべきの動議であり、他の一は日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

【ロンドン二日發同盟】英國勞働黨は二日ボーツマスに於ける年次大會に於て日支紛爭に關する決議を爲すべく準備中であるが、その一は日本の行動を侵略なりとし、支那側の抵抗を支持すべきの動議であり、他の一は日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

英國勞働黨

日支紛爭で協議

【ボーツマス二日發同盟】英國勞働黨は四日の同黨年次大會を前に二日間開催した國際委員會を開き日支紛爭に關する決議を爲すべく準備中であるが、その一は日本の行動を侵略なりとし、支那側の抵抗を支持すべきの動議であり、他の一は日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

宋子文

仲裁を期待

【香港四日發】宋子文の側近にある英人は非公式に左の如く語つた

一、支那に於ける日本の行動を侵略なりとし、支那側の抵抗を支持すべきの動議であり、他の一は日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

二、日支兩國間の紛爭の爲め國際聯盟の權威を失墜することは、世界平和の爲め最も憂ふべきことである。

三、日支兩國が國際聯盟の規約に基き解決を圖るべきの動議である。

崖か十二名が

敵部隊を敗走させる

焼打決死隊・寶山アパートを襲ひ

【上海四日發同盟】我が陸戰隊の決死隊は、昨三日夜、寶山アパートを襲ひ、敵兵を敗走させた。

胸に二彈

澤本大尉壯烈な戰死

【羅店鎮三日發本社特電】和知部隊○○隊長澤本勝大尉は二日早朝の攻撃に際し、自ら先頭に立ち、敵の第一線を突破、更に第二線に向つて突撃中、胸に二彈を受けて壯烈なる戰死をとげた。大尉は高知縣出身昨年十月結婚大喜の新刀組で和知部隊の主柱と目されてゐた

英國大使が香港へ

家族を同伴し

【上海四日發同盟】英國大使ヒューゲッセンは四日正午家族同伴香港に向つた

犇へば必ず命中

墟溝砲臺を潰滅せしめて

驅逐艦○○無事歸る

【東京四日發本社特電】八月十六日の爆撃隊に當り東飛○○、○○隊の爆撃機隊長として敵の堅艦見事撃沈した指揮官○○大尉は、その時の模様を左の如く語つた

機體は蜂の巣

嘉興空襲に參加した

細川一等航空兵曹の武者振り

【東京四日發本社特電】八月十六日の爆撃隊に當り東飛○○、○○隊の爆撃機隊長として敵の堅艦見事撃沈した指揮官○○大尉は、その時の模様を左の如く語つた

天無口

支那のデマには、デマまで自製三千式なるものがあり、その上、尾ヒレを付けたり偽筆することが出來なくてはなるので隣外國人もコロと參る、或る點までソレは無理も無い▲かしデマは何處までもデマであつて眞實性が無く、從つて長時間の間には化けの皮が剥げて來る、そして其際に支那人の信用を落してゆく、世の中で〝噓〟より强いものはない、メッキは到底敵には勝てない▲同じ外國人の中でも、日本並に朝鮮の記者は一番よく支那人の信用を得てゐるらしい、これは筆跡が似て居るからでデマの吹き込む餘地が無いからだ▲上海の外國記者などは、最早の智慧振りは全く世界第一だといふ折紙を付けてゐるさうだが、その理由とする所には、歐米人が支那人の筆跡を解する能力が無いから、日本人が居れば、支那人の筆跡を解するから、デマの吹き込む餘地が無いからだ▲上海の外國記者などは、最早の智慧振りは全く世界第一だといふ折紙を付けてゐるさうだが、その理由とする所

輸出入制限禁止の

省令原案を可決

貿易審議會第一回會議

【東京四日發同盟】貿易審議會第一回會議は四日午前十時より工業俱樂部において開催され、會長吉野商相以下各委員出席、事務當局より輸出入制限禁止に關する諮問に對する說明があり、次に同諮問に關する質疑應答があつた後、午後一時より再び會議を開き、原案を可決したが、同コーヒーはブラジルの主要輸出品目たるを以て、ブラジル側の反對を考慮し、輸入制限禁止の品目より除外することとなり、原案通りブラジルとの協定成立を待つて實施することとなつた。尙ゴム、ゴム製品、ゴム原料、ゴム製品、ゴム原料、ゴム製品、ゴム原料

第二回米收穫豫想
六千六百九十九萬石
二十日現在　農林省の發表

【東京四日發同盟】本年の米作付段別は三百二十一萬二千八百二町五段にして、これを前年に比すれば八千五百八十四町六段（三厘）を增加せり、然して九月二十日現在に於ける豫想收穫高は六千六百九十九萬二千百七十石にして、これを前年實收高に比ずれば三十一萬九千二十二石（五厘）を減少し、前五ヶ年平均實收高に比すれば五百四十七萬六千三百五十七石の增加せり、尙本年の作況は八月十五日現在の調査に於いて四十二日の豫想に比し、なほ多少の減收を免れざるも、たまたま九月十一日の暴風雨等に相當の被害を及ぼし又關東地方に於いて蔓延せる赤枯病の如き豫想を示すに至れり

【東京四日發同盟】本年の米作付段別は三百二十一萬二千八百二町五段にして、これを前年に比すれば八千五百八十四町六段（三厘）を增加せり、然して九月二十日現在に於ける豫想收穫高は六千六百九十九萬二千百七十石にして、これを前年實收高に比ずれば三十一萬九千二十二石（五厘）を減少し、前五ヶ年平均實收高に比すれば五百四十七萬六千三百五十七石の增加せり、尙本年の作況は八月十五日現在の調査に於いて四十二日の豫想に比し、なほ多少の減收を免れざるも、たまたま九月十一日の暴風雨等に相當の被害を及ぼし又關東地方に於いて蔓延せる赤枯病の如き豫想を示すに至れり

豊作況にも拘らず
自管法は發動されまい
來米穀年度の需給推算

【東京四日發同盟】本年産米穀の需給關係を考慮して來年一月以降の需給狀態を左の如く推算した

供給		
前年度繰越高		八、〇〇〇
本年産收穫高		六、六九九、二七〇
輸入	入	三〇〇
	移入	八五、〇〇〇
計		六八八、七九二
需要		
消費（大正十二年以降の調査高）		五、七五〇、〇〇〇
輸出		一〇〇
移出		四五〇
計		五、七五一、五五〇
差引過剰米		三、〇〇〇、〇〇〇

右の如く前記米穀年度の豫算を編成し來米穀年度の移入を八百五十万石とし他面自管關係と二面年度繰越米穀有力の豫作況を考慮して消費は豫外增加するものと見る向もあるが、從來

中北部の
蓬萊は鞘縮み
北部米の賣行良し

時局による內地食糧の緊に自從の不足で出廻れた米が期せずして共に續進し休日明けの四日は大阪先物限三十四九十九錢に寄付いたが、前後場にかけて利喰の成行を示し三十一四三十九錢に打止めた、正米市場は朝來荷を控て買人氣强く後場は建玉中限十四十二錢、二期先限十四十一錢の高値を現はした、現米は北部米第十四五十一錢と依旧前日に比し十六錢方、中部米類は十四九錢と休日前に較べて五錢方の上伸を示したが、米價が上つたので過日來十錢以上まで持越してゐる

臺米輸送の
戰時保險問題
神戶移入組合での保險料案決定

【神戶四日發電通】臺灣米輸送戰時保險問題に關し、當地臺灣米移入組合では豫定保險料を一俵一錢までは實價に含めて置き、それ以上は實費を負擔すべきことを決し、移出組合側と交渉する筈となつた

全島茶業關係者の
大同團結機關創立
協會長には殖產局長が就任

今秋の內臺茶業大會にも參加

臺灣に於ける茶業の統制機關たる臺灣茶業協會を擴大改組して全島茶業關係者の大同團結を圖り茶業の振興を期すべく今秋內臺茶業大會開催に際し協會總會を開催することに決定したが、協會長は殖產局長が就任し副會長は總督府關係者の中より選任すること、委員二十名は各團體の代表者から出し內四名は官廳側から出すこと、會費は前記二團體が負擔すること等を決議し近日中に發起人會を開き協會規則及役員選擧方法等を決定する筈である

內外商況欄
俄然賣方踏上げ
鐘紡、軍需株暴騰

（四日着電）

【東京四日發同盟】長期、休日前の今朝は俄然買方優勢に轉じ殊に鐘紡、帝人、日曹、日窒、日產、日鐵、日本製鋼、日本鋼管、日本電工、日本曹達、日本化學、日本油脂、日本石油、日本鑛業、日本冷藏、日本電氣、日本電力、日本電興、日本電化、日本電業、日本電力、日本電興、日本電化、日本電業、日本電力、日本電興、日本電化、日本電業

昭和十二年十月五日　（火曜日）　東京日日新聞社　第一万二千四百八十二號　（三）　（附録）

支那問題事典

赤色支那の再建　大塚令三
雲南貴州の旅　竹内夏積
苦悩する蔣介石　宮崎世龍

支那をどうする

（現地座談會）

佐村上知夫　三林寺龜一　濱田峰太郎　小本平治　池宗墨　岡部冬彦　銀行員

北支の對支經濟戰

濱田峰太郎

大陸政策としての滿洲と北支那

大上末廣

日本は支那をどうする

中野正剛

大陸政策と文化史的意義

白鳥敏夫

列國の誕生まで

孫文

列強の邊疆領土侵略

村田孜郎

古都北平

林語堂

上海籠城記

大和太郎

支那人の考へ方

村松梢風

全支戰線ルポルタージュ

外人記者の觀た上海戰線

呉佩孚・陳中孚と中國復興と冀東政府

池宗墨

支那事變大画報

第一輯より第五輯まで

支那事變實寫寫眞帖

中南支徹底空爆の痛快物語

上海に於ける會田記者の大活躍

渡洋大空爆實戰談

命がけ第一線從軍記

悲壯！原軍醫大尉の手記

噫！壯烈中村大尉の奮戰

上海に事變秘話を探る

涙！山内中尉の母を訪ねて

出征軍人慰問文募集

立志傳中の人物

味覺の秋・秋の果實いろ〳〵話

日本軍歌軍國歌謠

全同胞一冊！

大評判

特大の血鮮頁

御禮・キングニ月號は再版增刷も全部賣切・本號又々大評判！

北支戰線壯烈實記

海軍荒鷲隊壯烈實記

上海戰線壯烈實記

支那事變大画報

第一輯より第五輯まで

日本軍歌軍國歌謠

全同胞一冊！

大評判

特大の血鮮頁

御禮・キングニ月號は再版增刷も全部賣切・本號又々大評判！

支那問題事典

臺灣六法

定價四圓也　送料三八錢

發行所　臺灣日日新報社商事課

最新支那問題事典

この事典を見れば支那のことは何でもわかる

日清戰爭從軍記　三田村・鳶魚

上海は何處へ

國と國、人と人　嘉治隆一

北支點景

支那に於ける回教徒問題　笠間杲雄

北支農村の特質

玉木英夫

陝北ソヴエートを行く

長江

北平大同追擊記

岡田全弘

中以北支點景

岡村二一

漢口野戰病院

北平漢線從軍記

松井春四郎

夏門脫出記

女も戰爭に出るの巻

九・一八の夜

支那認識の再檢討

尾崎秀實

防共戰の限界とその意義

山本實彦

上海靜安寺の碑文

橫光利一

擴大事變の波紋と前途

田知花信量

小説王家の鏡

阿部知二

北支の憶ひ出

林芙美子

支那の現狀（輿論交）猶津南雄侯

陸軍出身の支那要人たち

戰雲を衝くカメラマン

子孫繁榮後・記

夫和繁榮後・爭戰

山平・夜の八一一

歐洲大戰の眞相

國民使節派遣について

戰局の縫展と北支政局

北支政局收拾の目標

支那事變と歐洲列強

南京・九江・蘆山・南昌

抗日支那の救國公債

事變北支那大陸生活

後藤朝太郎

評判小説　孤城の華

雨工

評判代議士　恩愛勿忘草

中野孝治

佳友家の弟妹　日本の大金塊秘話

時事問題早わかり

國民常識

滿員御禮キング大娯樂園

大人漫畫大レヴュー館

小梅と榛澤昇

映画物語　スパイ戰線を衝く

大評判の小説

新掲載長篇小説　日本の妻

竹田敏彦

心の持ち方一つ

島田愚仙

聖橋

本雅邦先生

現代の英雄

菊池寬

江戸五人男

子母澤寬

暗室

競技

細田民樹

本町小町

神田越山

青春オリムピック

中野實

呼子鳥

加藤武雄

探偵小説　大暗室

結婚相談　薔薇競技

大衆小説　江戸五人男

大岡政談　本町小町

滑稽小説　青春オリムピック

戀の小説　呼子鳥

家庭小説　現代の英雄

新掲載武俠小説　敵討魔法陣佛身

劍俠秘話　豪強定輕劍法

藤虎

劍俠秘話　豪強定輕劍法

藤虎

洋上哀劇　上海航路

八住利雄

洋上哀劇　上海航路

八住利雄

大日本雄辯會講談社

大日本雄辯會講談社

特價十六錢

特價十六錢

男裝の美少女、受難の箱根山！

青山安治先生の大傑作！！

新掲載武俠小説　敵討魔法陣佛身

支那問題事典

臺灣六法

最新支那問題事典

上海は何處へ

支那認識の再檢討

防共戰の限界とその意義

上海靜安寺の碑文

擴大事變の波紋と前途

小説王家の鏡

北支の憶ひ出

支那の現狀（輿論交）猶津南雄侯

陸軍出身の支那要人たち

戰雲を衝くカメラマン

子孫繁榮後・記

夫和繁榮後・爭戰

山平・夜の八一一

歐洲大戰の眞相

國民使節派遣について

戰局の縫展と北支政局

北支政局收拾の目標

支那事變と歐洲列強

南京・九江・蘆山・南昌

抗日支那の救國公債

事變北支那大陸生活

後藤朝太郎

北支農村の特質

玉木英夫

陝北ソヴエートを行く

長江

北平大同追擊記

岡田全弘

中以北支點景

岡村二一

漢口野戰病院

北平漢線從軍記

松井春四郎

夏門脫出記

女も戰爭に出るの巻

九・一八の夜

日清戰爭從軍記

三田村・鳶魚

上海は何處へ

國と國、人と人　嘉治隆一

北支點景

支那に於ける回教徒問題　笠間杲雄

支那認識の再檢討

尾崎秀實

防共戰の限界とその意義

山本實彦

上海靜安寺の碑文

橫光利一

擴大事變の波紋と前途

田知花信量

小説王家の鏡

阿部知二

北支の憶ひ出

林芙美子